

社会人と学生の両者に対象を広げる 地域定住農業者育成事業の進化

1. 担い手の状況と予測
2. 事業の理念
3. 事業の体制
4. 事業の実績
5. 今年度、そしてこれから

(令和2年7月22日現在)

1. 担い手の状況と予測

庄内地域で、2040(令和22)年の農業経営者は2015年の3.5倍担わなければならない。

産出額1,431.7万円、所得642.8万円(所得率44.9%)
(2015年 411.4万円、184.7万円)

経営耕地10.54ha(2015年 3.03ha)

担い手の増加

経営拡大に対応する能力開発
人材不足下における情報交換能力
多年代、異業種間との交流
農学部生の就農意欲喚起

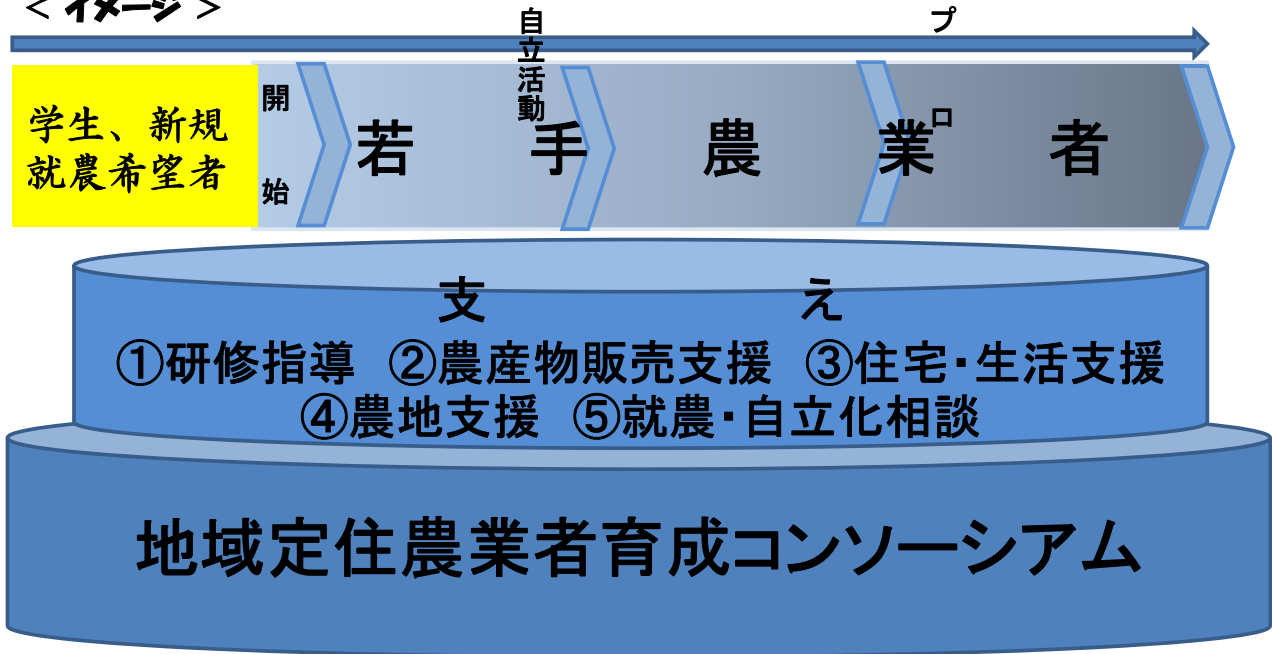
2. 事業の理念

地域定住農業者育成事業

(目的)

本地域で農業を志す若手農業者に対し、自立(経営感覚の優れた担い手)に向け、地域定住農業者育成コンソーシアムを組織し、高度技術研修、ビジネス化支援、農産物販売支援、住宅・生活支援など総合的支援で支え、地域定住に繋げ、農業の発展と地域経済の振興を図っていく。

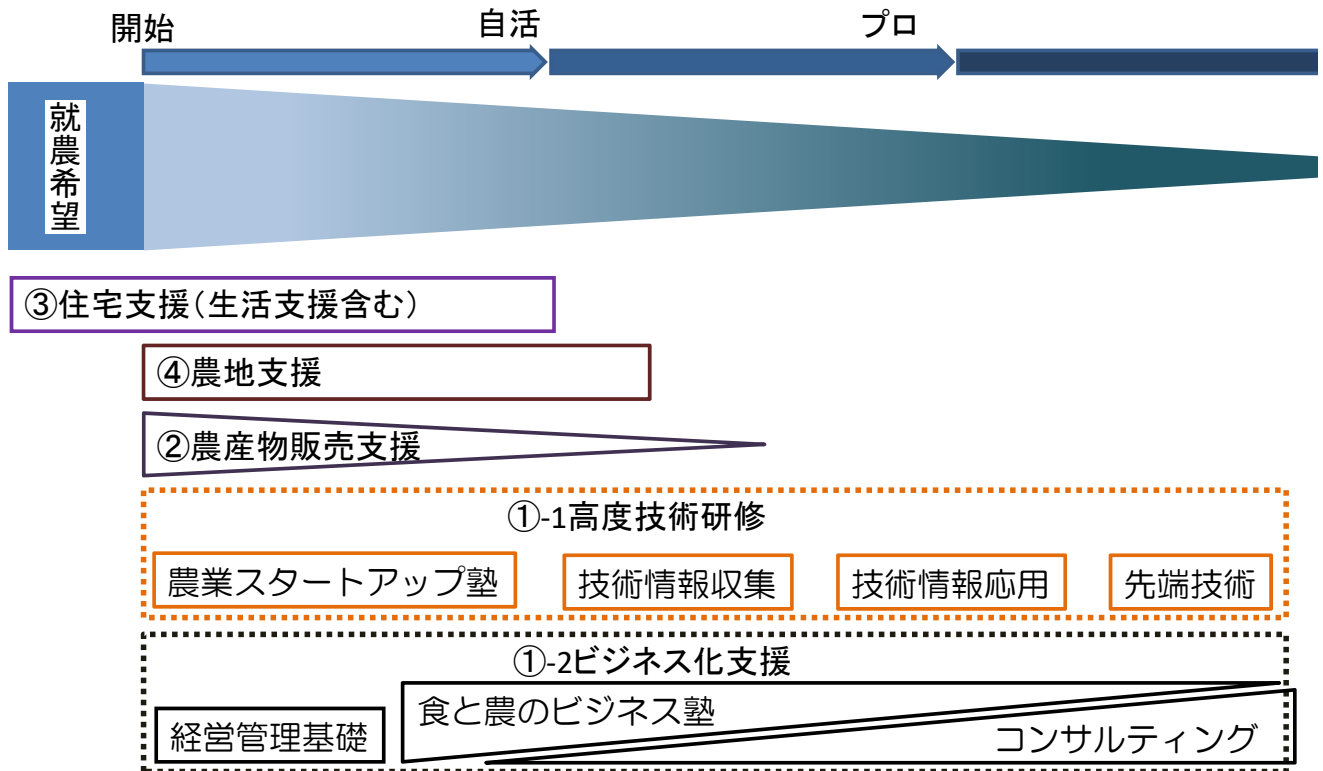
< イメージ >



2

2. 事業の理念

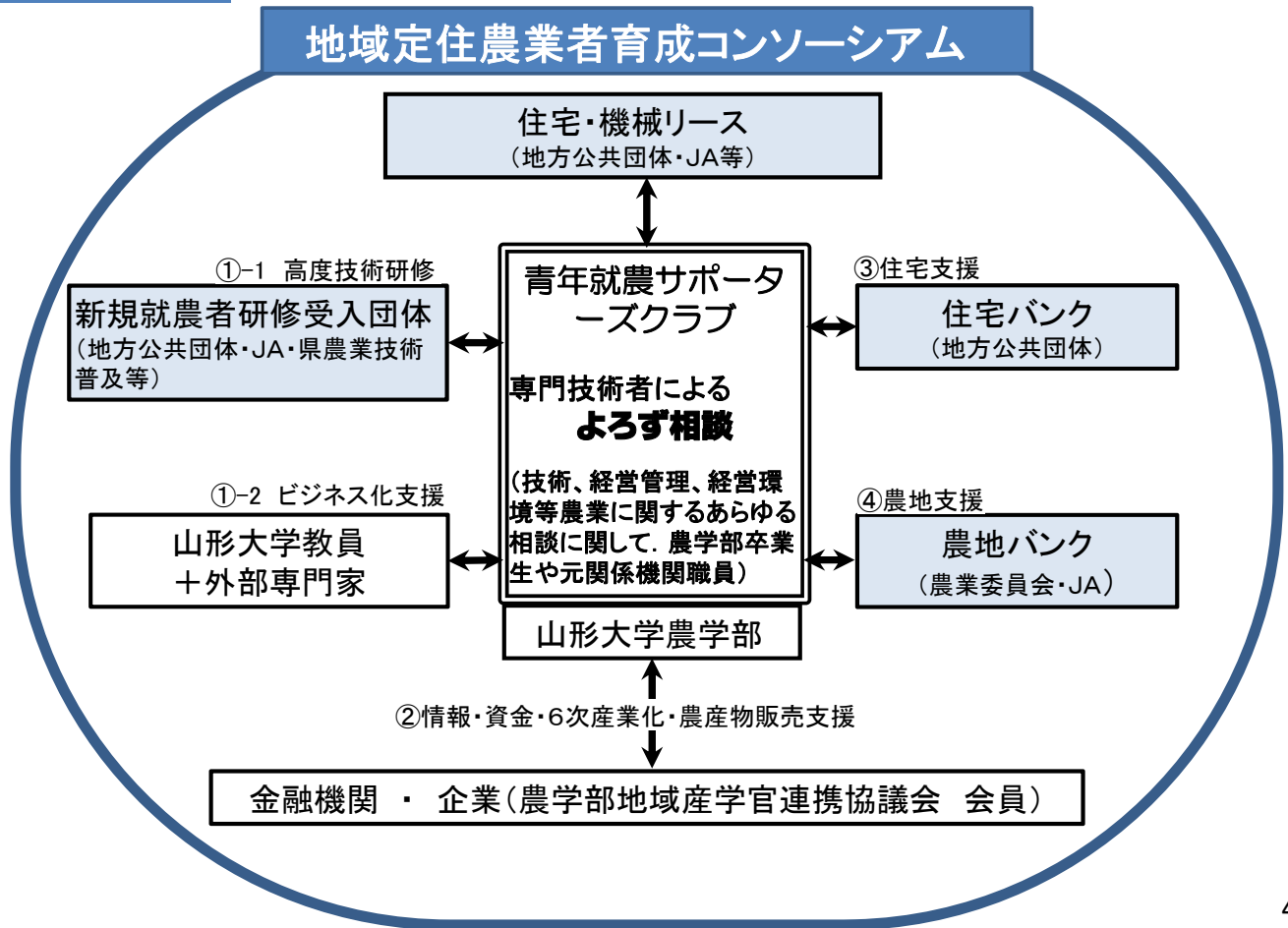
地域定住農業者育成事業 農業者の成長ステージ別支援イメージ



⑤就農・自立化相談

3

3. 事業の体制



4

3. 事業の体制

地域定住農業者育成コンソーシアム

域内自治体(鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町)

域内JA(JA庄内たがわ、JA鶴岡、JA庄内みどり、JAあまるめ、JAそでうら)

山形大学農学部、個人有志(青年就農サポーターズクラブ・メンバー)

域内商工団体(鶴岡商工会議所、出羽商工会、他)

域内金融機関(荘内銀行、鶴岡信用金庫)

庄内総合支庁農業振興課、農業技術普及課

日本政策金融公庫山形支店

団体・組織会員、個人会員

5

【事業の内容】

I. 講座事業

- ・食と農のビジネス塾(年間. 就農希望者、学生等)
- ・農業スタートアップ塾(半期ごと. 就農希望者等)
- ・農業体験(8月. 農学部1年生対象. R2年度は不開講)
- ・農学部学生・就農希望者と青年農業者の集い;3回
- ・農学部学生向け鶴岡の産業紹介講座;3回
- ・青年就農サポーターズクラブ研修;3回

II. 相談・情報発信事業

- ・よろず相談(ビジネス化、農地支援、就農・自立化等)
- ・メーリングリストによる情報発信;1回/週(交流も含む)

I. 講座事業



- ・食と農のビジネス塾 28年度;14名(学生3名)、29年度;25名(学生4名)、30年度;21名(学生4名)、元年度;21名(学生1名)、2年度;28名(学生2名)

文部科学省・職業実践力育成プログラム(BP)平成28年認定

国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー(食Pro.)レベル3育成プログラム」平成29年11月認定

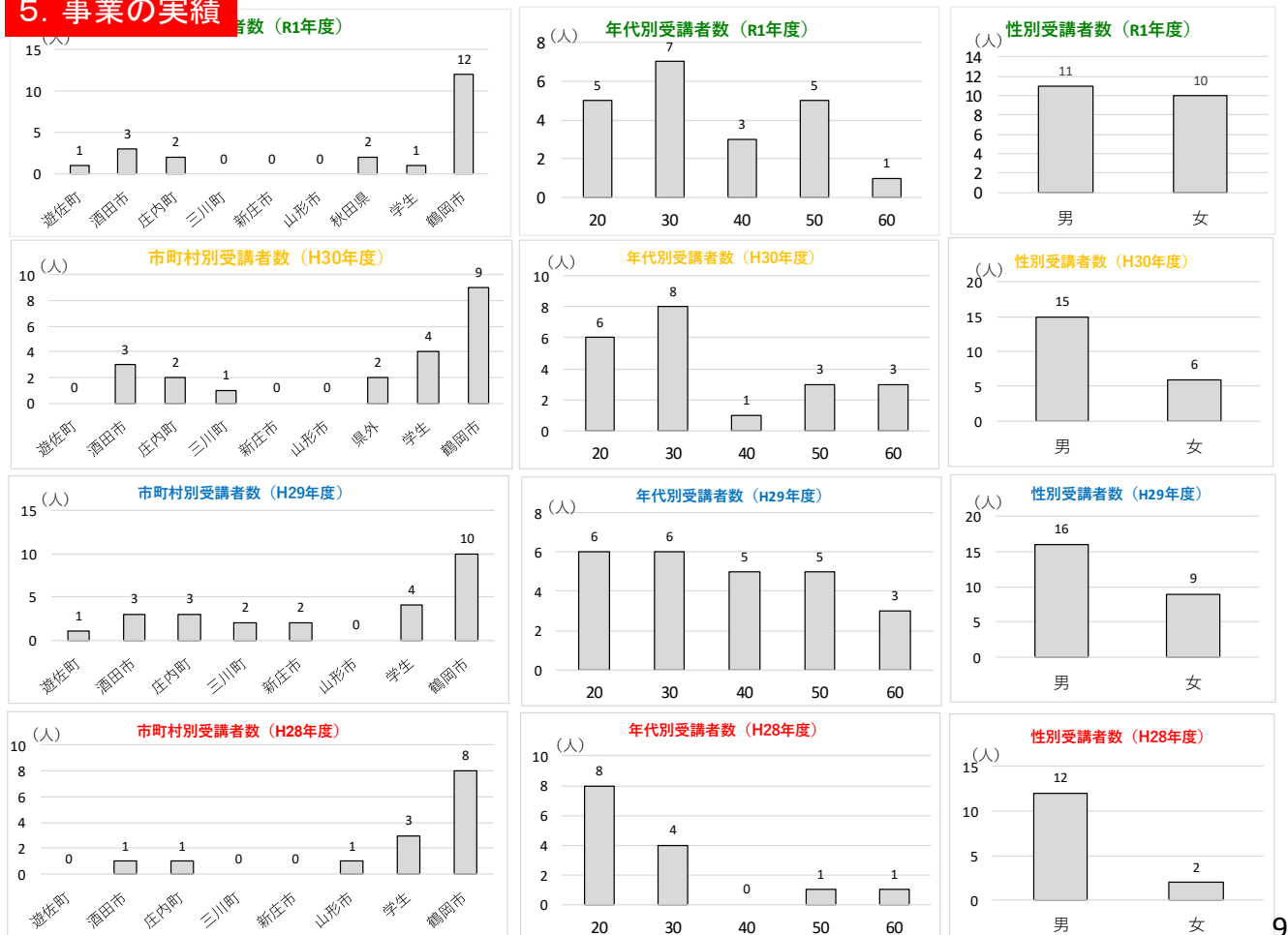
- ・農業スタートアップ塾 29年度10月生;1名、2年度4月生;1名
- ・農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ(農業体験)
30年度;50名、R1年度;43名 受入農家20戸
- ・農学部学生・就農希望者と青年農業者の集い 5回
庄内アグリユース(Facebookグループ 115名登録)
- ・農学部学生向け鶴岡の産業紹介講座 29年度開始
- ・青年就農サポーターズクラブ研修

5. 事業の実績

令和2年度 食と農のビジネス塾 カリキュラム

1	4月16日(木) 9:30~10:30	開講式			
	11:00~12:30	オリエンテーション 食と農のビジネスの意義と役割・研修の狙い	1.5		
	13:30~16:40	食と農のビジネス～今農業者が目指すもの、求められるもの～	3		
2	4月23日(木) 13:00~16:10	ビジネス塾参加 私狙い(ワークショップ)	3		
3	5月21日(木) 13:00~16:10	食と農のビジネス 実践者は今サポーターとの意見交換	3		
4	5月28日(木) 13:00~16:10	農業の経営戦略	3		
5	6月4日(木) 13:00~16:10	マーケティング	3		
6	6月11日(木) 12日(金)	農場(企業)実習【視察研修】	12		
7	6月18日(木) 13:00~16:10	インターネットを活用した販売とSNS活用術	3		
8	6月25日(木) 13:00~16:10	フードシステム サポーターとの意見交換	3		
9	6月29日(月) 13:30~16:40	食料・農業・農村の動向と施策	3		
10	7月9日(木) 13:00~14:30	「食産業王国やまがた」実現に向けた取組み・支援策	1.5		
	14:40~16:10	産業支援機関による支援策とその活用	1.5		
11	7月16日(木) 13:00~16:10	ケースメソッド サポーターとの意見交換	3		
12	7月22日(水) 9:00~12:10	食と農のビジネス 取り組む農業経営者の今(視察研修)	3		
13	7月30日(木) 13:30~16:40	農村自給圏スマート・テロワールを目指して	3		
14	8月6日(木) 13:00~16:10	食品加工場開設の実際	3		
15	8月27日(木) 13:00~16:10	食品加工と衛生管理 -基礎-	3		
16	9月3日(木) 13:00~16:10	財務管理の必要性と複式簿記会員との意見交換	3		
17	9月10日(木) 12:00~17:30	食品加工と衛生管理 -実践-【視察研修】	3		
18	9月17日(木) 13:30~16:40	フード・コミュニケーション・プロジェクト	3		
19	9月24日(木) 13:00~16:10	販売力強化講座(1)	3		
20	10月1日(木) 13:00~16:10	販売力強化講座(2)	3		
21	10月8日(木) 13:00~16:10	販売力強化講座(3)	3		
22	10月17日(土), 18日(日)	販売実習 I (域内)	12		
23	10月22日(木) 13:00~16:10	販売力強化講座(4) サポーターとの意見交換	3		
24	10月29日(木) 10:30~12:00	物質・エネルギー利用型地域資源利用論	1.5		
	13:00~16:10	財務管理 -基礎-	3		
OP	10月31日(土), 11月2日(日)	販売実習 II -1 (域外)※	12		
25	11月5日(木) 10:30~12:00	農産物の保存	1.5		
	13:00~16:10	財務管理 -実践-	3		
26	11月12日(木) 10:30~12:00	畜産の実態	1.5		
	13:00~16:10	経営設計-作物組合、労働配分-会員との意見交換	3		
27	11月19日(木) 9:20~12:30	販売力強化講座(5)	3		
	13:30~16:40	ビジネス計画書作成(1)	3		
28	11月26日(木) 13:30~16:40	庄内の在来作物	3		
29	12月3日(木) 10:30~12:00	野菜の栽培管理	1.5		
	13:00~16:10	ビジネス計画書作成(2)	3		
OP	12月10日(木), 11日(金)	販売実習 II -2 (域外)※	12		
30	12月17日(木) 10:30~12:00	財務会計、資金計画の作り方	1.5		
	13:00~16:10	ビジネス計画書作成(3)	3		
31	12月25日(金) 9:00~16:10	ビジネス計画書中間発表会(意見交換会)	6		
32	1月7日(木) 11:00~11:30	ホスピタリティ・マネジメント事前学習	0.5		
	11:30~15:00	ホスピタリティ・マネジメントの実際【視察研修】	2.5		
33	15:10~16:40	ホスピタリティ・マネジメントの検証	1.5		
	1月14日(木) 10:30~12:00	果樹の栽培管理	1.5		
34	13:00~16:10	食と農のブランディング	3		
	1月21日(木) 13:30~16:40	やまがた食と農のビジネスの戦略的販路開拓(仮題)	3		
35	1月28日(木) 10:30~12:00	稲作の栽培管理	1.5		
	13:00~16:10	ビジネス計画書作成(4)	3		
36	2月12日(金) 10:30~12:00	農地情報と市町村支援策	1.5		
	13:00~16:10	ビジネス計画書作成(5)	3		
37	2月22日(月) 9:00~16:10	ビジネス計画書発表会	6		
38	3月5日(金) 13:00~14:30	ビジネス計画書優秀者報告会	1.5		
	15:00~16:00	修了式			
合計				168.5	

5. 事業の実績



4. 事業の実績

相談件数(令和元年)

	件数	人数
4月	20	20
5月	16	20
6月	21	25
7月	18	20
8月	11	13
9月	18	18
10月	25	31
11月	30	30
12月	16	25
1月	18	24
2月	22	23
3月	11	14
計	226	263

食と農のビジネス塾・販売実習

- ・つるおか大産業まつり 28年～
- ・江戸川区つるおか観光物産展 29年～
- ・山形出羽庄内発産直出前便 28年～
- ・庄内寒鱈まつり(鶴岡銀座通り) 30年～

Facebookグループ

- ・庄内アグリユース
- ・地域定住農業者育成コンソーシアム
- ・農学部学生・就農希望者と青年農業者の集い
庄内アグリユースとして活動
- ・農学部学生向け鶴岡の産業紹介講座
- ・メルマガ 月平均19.8回

などなど

29年度175件203人、30年度199件247人

4. 事業の実績

ビジネス計画書のタイトル

第一弾 鶴岡産リーフレタスを周年安定生産販売	自社既存商品のギフト化、販売に向けて	ただちゃ豆ポット苗
自家栽培の農産物を利用した農家カフェ・レストラン	乾燥野菜と果物に特化した体験型施設	産直運営会社設立
家業の安定した継承と、米価下落への対応	キッチン・スペース事業（民泊との隣接）	あっと驚く畑を作ろう
山形のおいしい農産物を海外へ Air産直	RN工房将来3年間収支計画	山のビジネスプラン
レッセフェール 市（いち）の開催～食と農の楽しさを求めて	ミニトマト専業農家になる	野菜の生産・販売
親子で農業体験できる有機（無農薬・無化学肥料）栽培農家	農業発展のための支援事業会社の設立	農業サポートビジネス
本物の手すき和紙を初めて作るコース提供事業	事業拡大と他生産者との差別化品目	農場経営計画
ハンドメイド用植物の栽培、有効利用した商品づくり	野菜生産法人を2021年に設立	農産物のネット販売
露地ネギ/雪中軟白ネギ/アスパラガスの生産及び販売	地域特産物を活用し地域活性化へ	イチゴの生産、販売
もっと新規就農者を増やしたい！ 一転職しやすい農業ー	庄内アンテナショップ んだの！	鶴岡“山のんめもの”屋
インターネットさくらんぼ注文フォームの設置事業	庄内柿・干し柿・茶葉	グローバルな農家民宿
CSA（地域支援型農業）による新たな農業経営	水稻栽培の大規模化と法人化	規模拡大に向けた計画
(株)ラッシュライフ事業概要 ～レタス輸出入Project～	庄内地方でのタマネギ栽培	にこにこ日向応援隊
農業、畜産分野への ロボット、AI（人工知能）データ連携システム活用プラットフォーム展開事業		

4. 事業の実績

受講生達のこれまでの成果

温海かぶ・こかぶちゃんの商品化、庄内一のこんにやく栽培、農産物加工、有機栽培米の生産・販売、ゲストハウス経営、こだわり農産物のカタログショップ商品化、工芸品づくり、黒川山椒商品化(和紙とのコラボ)、the YAMAGATA BEANS、ワーキング・キッチン花蓮Karen、有機野菜の産直展開、(株)ラッシュライフ(農産物貿易)、養蜂業、長谷川和紙工房、野菜生産法人を目指して、庄内柿・干し柿・茶葉、夫婦で鶴岡“山のんめもの”屋、にこにこ日向応援隊

数人の仲間によるトマト、タマネギ、キャベツ栽培への挑戦
生産物と加工品のコラボなど異業種間連携、
農作業、苗の提供などによる非常時の助け合い

12

5. 事業の実績

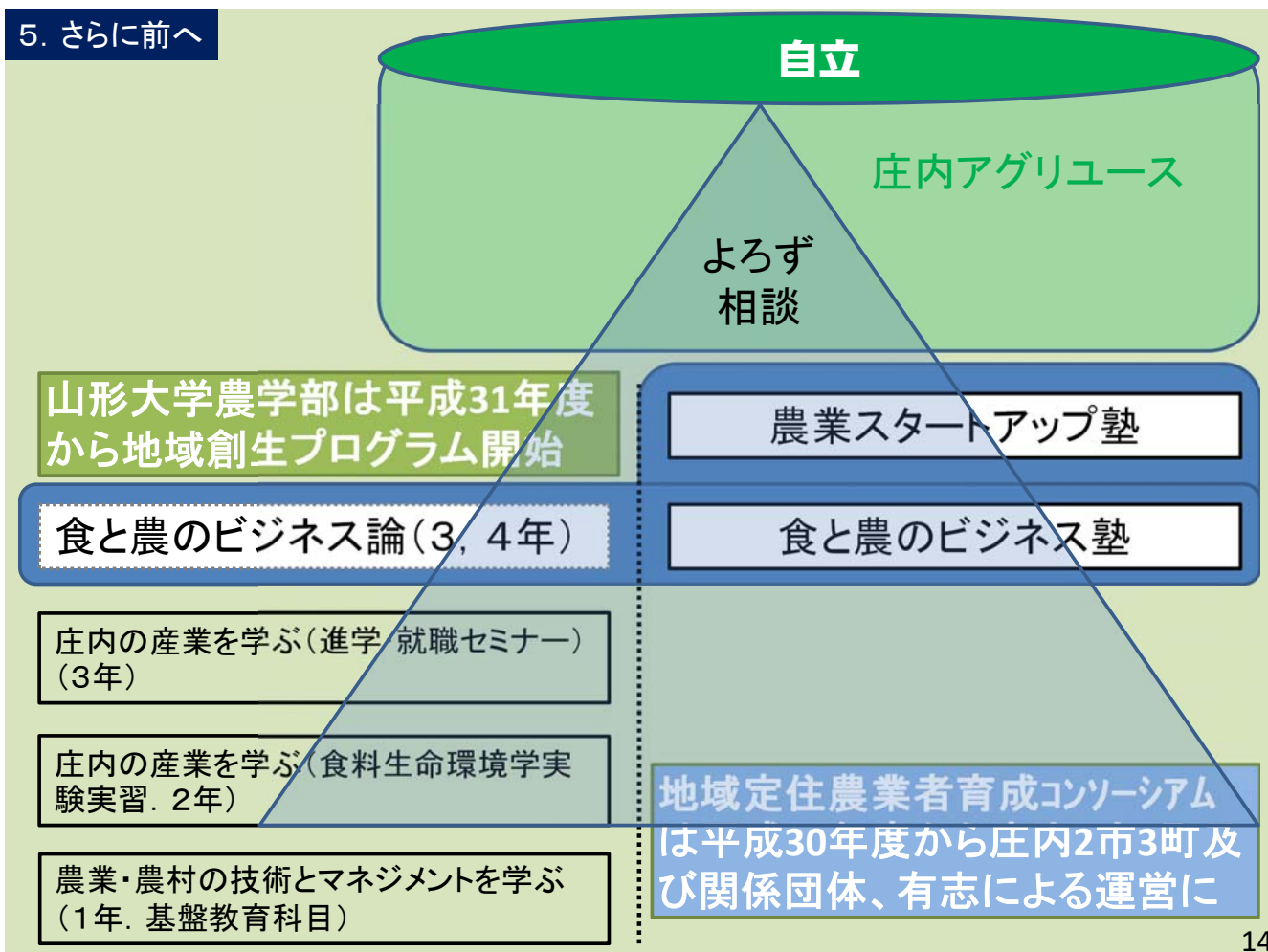
庄内アグリユース 30年度活動

開催日	研修内容	開催場所	参加者数
5月31日	ワークショップ(つながりを増やしたい農業者・農業関係者が気軽に意見交換を行う)	山形大学農学部食堂	51名
7月20日	産直施設等と農業者の情報交換会	山形大学農学部食堂	31名
8月9日	暑気払い	グランド エル・サン	15名
9月29日	農場フェスティバル参加(直売会)	山形大学附属農場	6名
10月14日	つるおか大産業まつり参加	鶴岡市小真木原運動公園	10名
12月6日	庄内の食と農の魅力(若手料理人と意見交換)	野菜の荘 菜あ	27名
1月11日	やまがた食と農のビジネスの戦略的販路拡大	三川町農村センター	25名

若手農業者へのサポーターによる現地技術支援 2件10回
(高齢専門家が若手農業者の実態を把握し指導する)

13

5. さらに前へ



5. 今年度、そしてこれから

【今年度】

- ・食と農のビジネス塾 6回を一般公開講座として2市3町で実施
- ・登録農業者にサポーターが家庭訪問、よろず相談
- ・情報交流、連携支援の強化
- ・山形県よろず支援拠点 定例相談会(月1回)
- ・コンソーシアム会員の拡大(年会費(原則) 団体2万円、個人4千円) 育成事業への意識ある参加者の拡大
- ・第三者継承に関する調査・啓蒙(日本公庫委託事業)

【これから】

- ・サポート需要の変化に対応した適切なサポートのあり方の検討

シームレスなよろず支援 年齢(現役農学部生～定年帰農)、
農業経験(就農希望～プロ農家)、経営全般～個別技術

山形大学農学部

地域が育てる地域の担い手(会員制 意識ある団体、個人の参加)